

=====
2015 年は、十二・五の最終年。中国政府にとって構造改革の年
=====

☆☆☆☆ 通算 第 045 号 ☆☆☆☆

<江蘇省が先駆けて大気污染防治条例を公表しました！>

<Name%>さん！省エネ・環保のエガちゃんです。

なかなか大気の状態が改善されない日々が続いておりますが、年始に大きな人身事故が発生し、責任者を一掃するなどその対処を見る限り中国政府の構造改革は本気なのだ実感できる現れではないでしょうか。

そんな中、皆様は如何お過ごしでしょうか。

今日は、江蘇省が全国に先駆け大気環境改善に向けた大きな発表を行いましたので、それについてご説明し上げたいと思います。これは江蘇省の発表ではありますが、全国の各省は政府方針に従い様々な政策、条例を公表しておりますので<Name%>さんの事業所が所属する省の発表にもご注意ください。

さて、今回江蘇省が発表した条例は以下の通りです。

<http://news.sina.com.cn/c/2015-02-01/180831468966.shtml>

「データ公開、分類治理、聯防聯治、強化懲罰等措置の強化により大気污染防治し、当該条例は3月1日より実施。」となっております。※「聯」とは、政府、企業、公民の聯合でという意味です。

そして、違反企業に対しては操業停止も含む懲罰が与えられ、最大 100 万円の罰金が科せられることが告知されています。

これは、何を意味するかというと前回四川省が発表した『四川省首部公共機構合同能源管理方法実施』とも連動しており、「反腐敗」を重要視した政策の一環と見る必要があります。

そのような背景もあつてか、今回の発表には以下の様なポイントが含まれています。

- 江蘇省は全国で大気汚染防止条例の先頭になり全国で模範的な動きを見せたいとのこと。
- 企業から自動車、庶民に至るまで幅広く全面的に管理すること。
- 政府が企業評価の重点を税金収入から環境対策に移していること。汚染企業は倒産しても仕方ないとの態度。

- 大気汚染防止責任を政府役員の評価制度に追加している。
- 指導に従わない重点汚染企業に対しては電気・水など強制供給停止などの手段を取る、責任者への刑事処罰（拘留）を行う。

つまりこれまでは役人達が腐敗の温床としてきた「環境」や「エネルギー対策」の法施行を徹底的に強化し、曖昧な部分を無くしていくという意思の現れとみるべきでしょう。

添付にて日経新聞の記事もお送りいたしますが、既にパンドラの箱は開いたとみるべきです。是非、<%Name%>さんも今後の政府、自治体などの動きには注意を払い、任せっきりにならないようにご注意ください。リスクを未然に防ぎましょう。